

水泳ニツポン・ 中期計画2017-2024

(2019年度 進捗報告)



センターポールに日の丸を!



2020年6月

公益財団法人日本水泳連盟

水泳ニッポン・中期計画2017-2024 要旨

ドリームプロジェクト2020

ドリームプロジェクト2020策定
アジア選手権東京大会開催

2012

2016

水泳ニッポン・中期計画2017-2024

中期計画2017-2024策定

2017

パンパシ選手権東京大会開催

2018

東京五輪開催

2021

世界選手権福岡大会開催

2022

水泳ニッポン・新時代構想

公益財団法人日本水泳連盟創立100周年

2024

①「する」「みる」「ささえる」水泳ファミリーの拡大

- ・日本代表の強化推進による水泳人気の拡大
- ・競技者、指導者、審判、ファン、愛好者の拡大

【ポイント1】
「第2期スポーツ基本計画」に基づき策定

③組織基盤の強化

- ・幅広い分野からの有能な人材の積極的な登用
- ・若手を中心とした人材育成

②「泳げない子供・大人」を減らす環境整備

- ・地域内温水プール拠点化構想の推進
- ・安全をより重視した学校体育(水泳授業)の充実

【ポイント2】
「理念」「使命」「行動指針」を明文化

④データベースの再構築

- ・登録、エントリー、課金記録管理の改善
- ・2次利用による次世代収益基盤の確立

センターポールに日の丸を！

競技力向上に努め、センターポールに日の丸を掲げ、人々に勇気と希望を与える。

競泳・飛込
水球・AS
OWS・日本泳法

国民皆泳

水泳の普及に努め、国民皆泳を実現し、人々の健康保持・増進と、水難事故防止に貢献する。

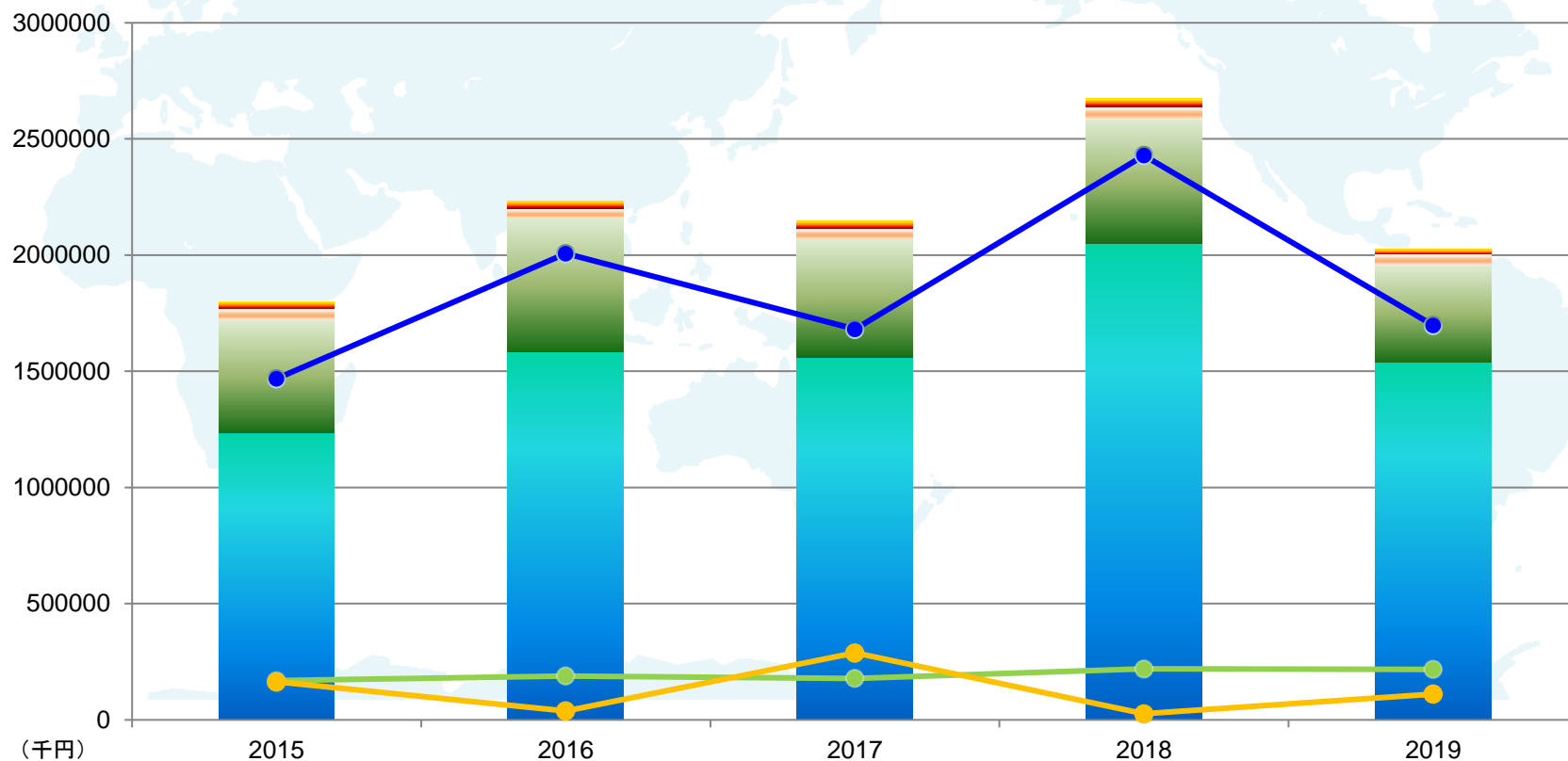
【ポイント3】 4戦略+8アクションプランで構成

財務状況

2019年度財務実績
(単位:百万円)

■事業収益1,537 ■補助金収益421 ■寄付金収益46 ■その他収益21 ■収入合計2,025
 ■事業費1,698 ■管理費217 ■支出合計1,915 ■評価損益等調整前当期経常増減額110

■ その他収益 ■ 寄付金収益 ■ 補助金収益 ■ 事業収益 ● 事業費 ● 管理費 ● 評価損益等調整前当期経常増減額



【1】日本代表強化：①競泳

【戦略2017①】

2021

2024

目標

- ①複数の金メダル獲得、10個以上のメダル獲得
- ②20種目以上の入賞

- ①複数の金メダル獲得、10個以上のメダル獲得

2019年度 主要大会	金	銀	銅	総括
世界選手権	2	2	2	世界選手権では、瀬戸選手が2種目で金メダルを獲得し、東京オリンピックに内定。 ユニバーシアード、世界ジュニア選手権では、次世代層が順調に競技力を向上。
ユニバーシアード	6	6	8	
世界ジュニア選手権	0	3	3	



【1】日本代表強化：②飛込

【戦略2017①】

2021

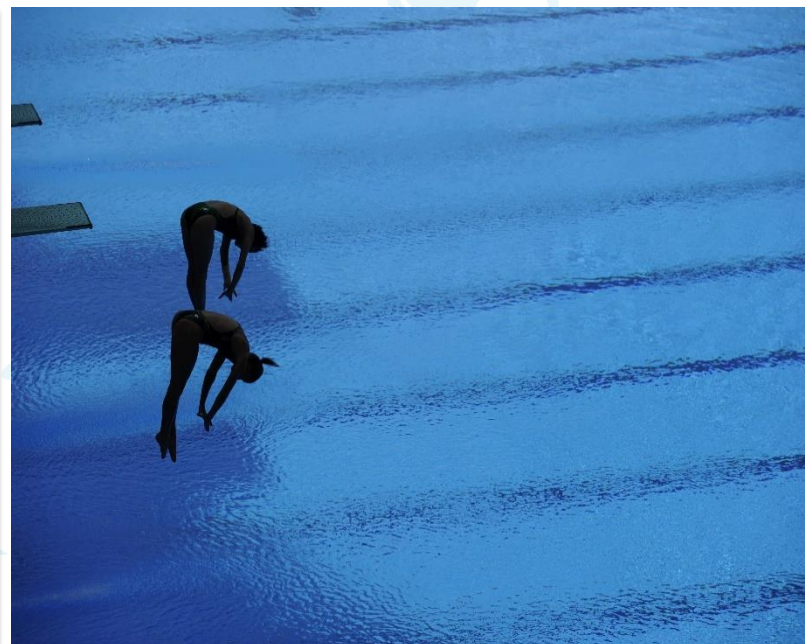
2024

目標

①女子高飛込メダル獲得
 ②シンクロナイズド3種目入賞(女子高飛込、男子飛板飛込、女子飛板飛込)

①女子高飛込以外の他個人種目メダル争い
 ②シンクロナイズド入賞及びメダル争い

2019年度 主要大会	金	銀	銅	総括
世界選手権	0	0	0	世界選手権では、3種目で4選手が入賞し、東京オリンピックに内定。
ユニバーシアード	0	0	0	ユニバーシアードでは、メダル獲得ならず。全体的な底上げが急務。
アジアエージ選手権	3	1	6	アジアエージ選手権では、出場全選手がメダルを獲得。



【1】日本代表強化：③水球

【戦略2017①】

2021

2024

目標

予選リーグ突破～メダル獲得挑戦

ベスト8進出～メダル獲得

2019年度 主要大会	金	銀	銅	総括
世界選手権	0	0	0	世界選手権では、男子が予選を突破も11位。
ユニバーシアード	0	0	0	次世代強化としてのユニバーシアードでは、男女ともに入賞。
世界ジュニア選手権	0	0	0	世界ジュニア選手権では男子が入賞。



【1】日本代表強化：④AS

【戦略2017①】

2021

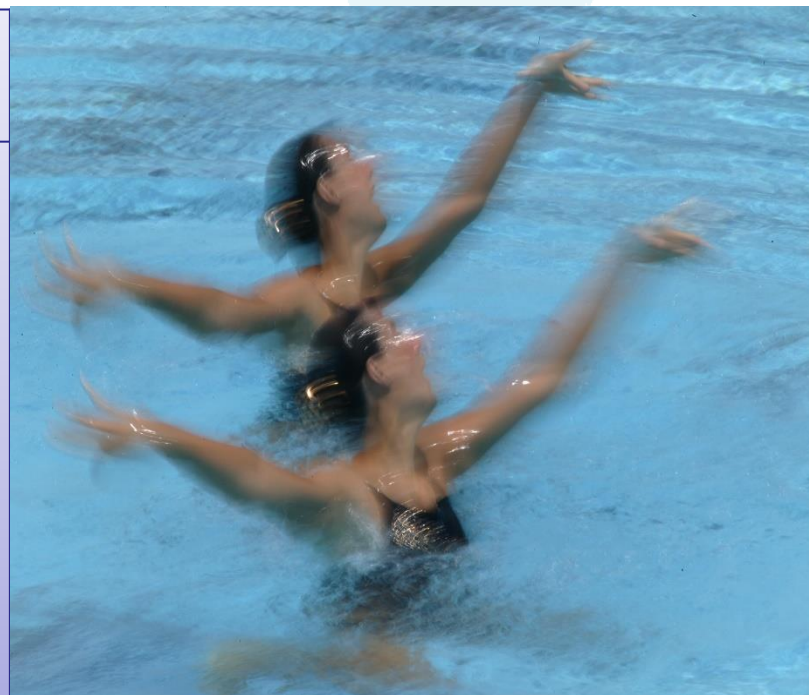
2024

目標

デュエット、チーム 銅メダル獲得

メダル獲得

2019年度 主要大会	金	銀	銅	総括
世界選手権	0	0	4	世界選手権では、ミックスデュエットで初のメダル獲得も、五輪種目でウクライナの後塵を押しメダルに届かず。
アジアエージ 選手権	8	2	0	次世代強化として、アジアエージ選手権ではジュニアチームが、世界ユース選手権ではユースチームが、それぞれメダルを獲得。
世界ユース 選手権	0	0	1	



【1】日本代表強化：⑤OWS

【戦略2017①】

2021

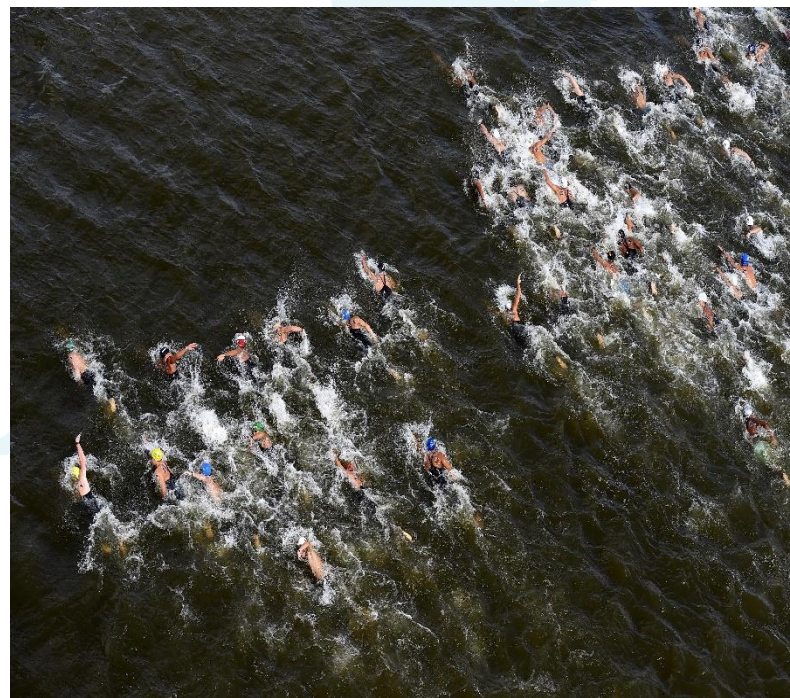
2024

目標

2大会連続8位入賞

3大会連続8位入賞

2019年度 主要大会	金	銀	銅	総括
世界選手権	0	0	0	世界選手権では男女とも入賞に至らず、東京オリンピック内定ならず。 アジア選手権および次世代強化としての全豪選手権では、男女ともにメダル獲得。
アジア選手権	2	3	0	
全豪選手権	1	3	1	



【2】指導者・審判

【戦略2017①】

【戦略2017②】

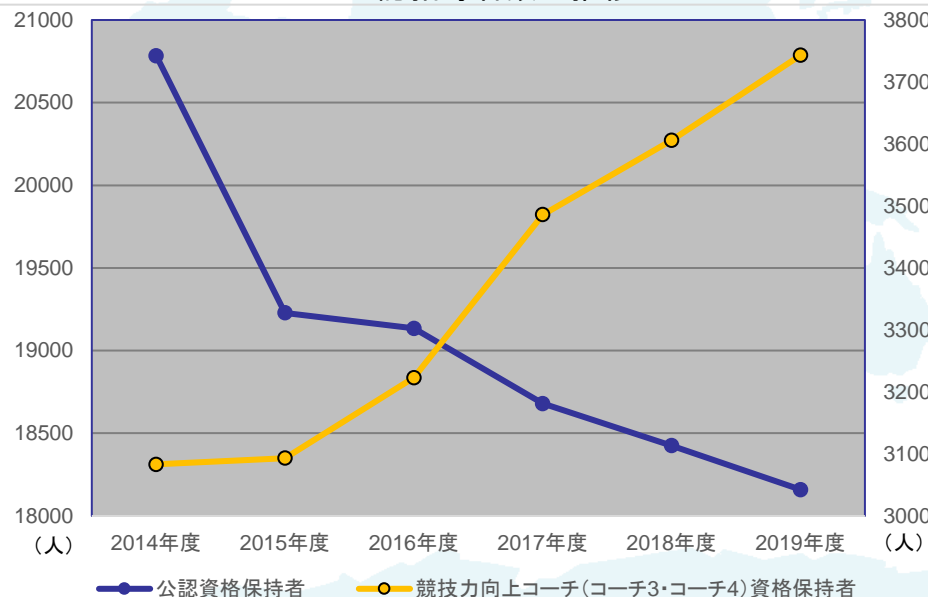
2020

2024

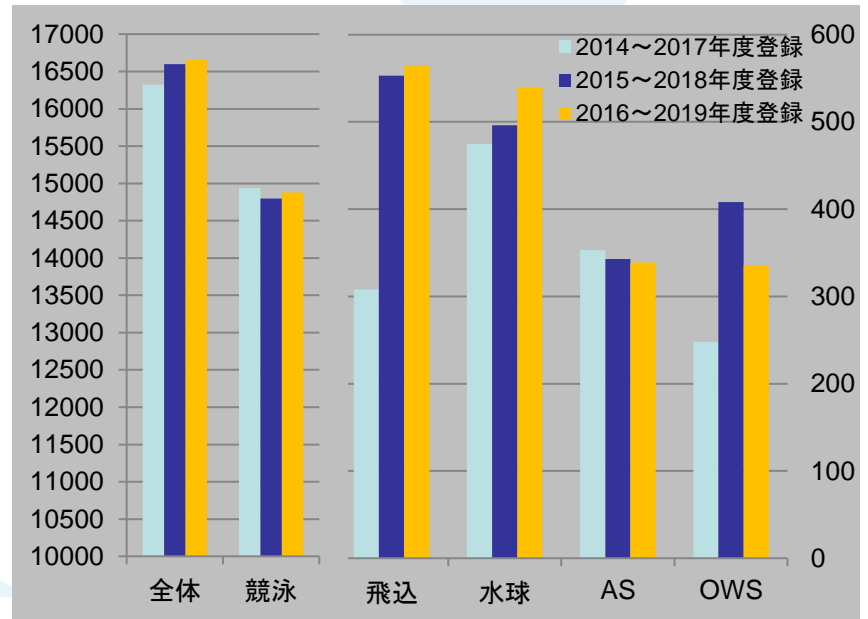
目標
公認指導者：20000人
公認審判員：16000人

公認指導者：21000人
公認審判員：17000人

■ 公認指導者数の推移



■ 公認審判員数の推移



(単位:人)

【3】競技会・マーケティング

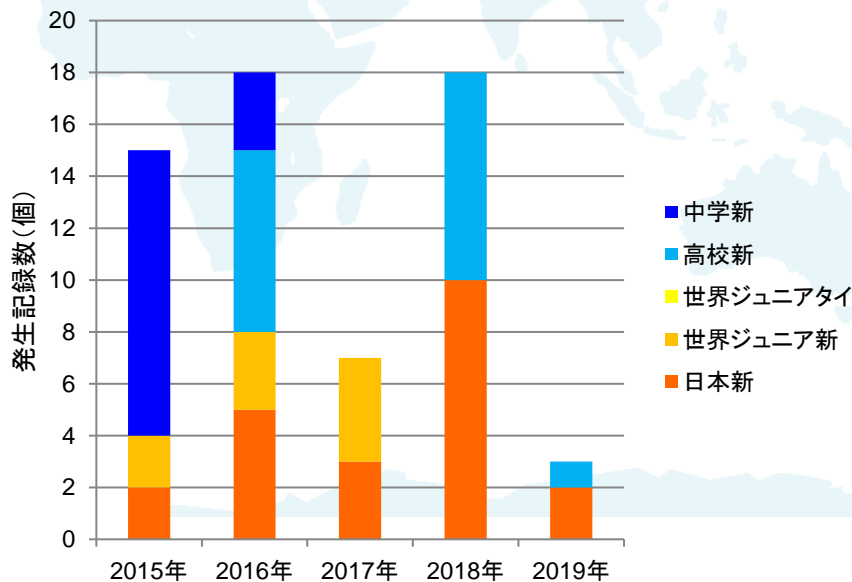
2020

2024

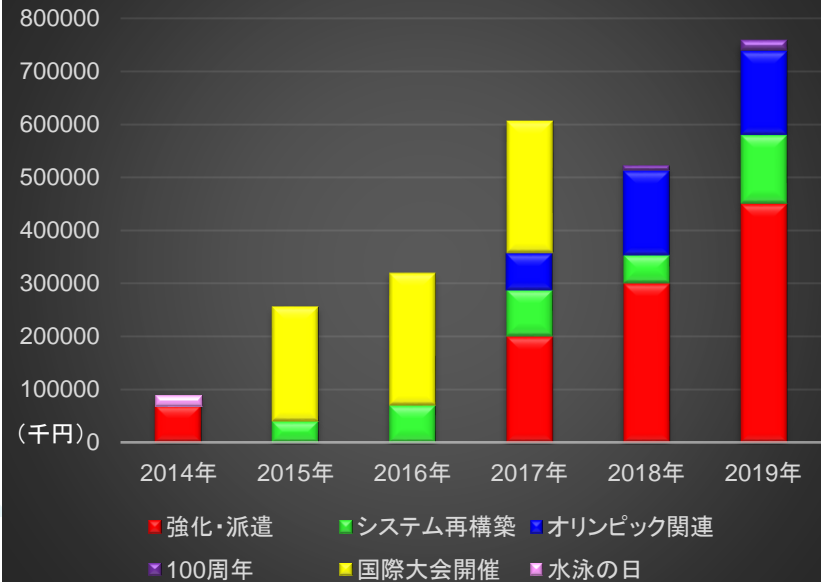
目標 競技会：国内競技会の充実
 マーケティング：ブランディング強化

競技会：国内競技会の充実
 マーケティング：事業の強化

競泳日本選手権における発生記録の推移



特定費用準備資金・資産取得資金の準備状況



【4】普及

【戦略2017①】

【戦略2017②】

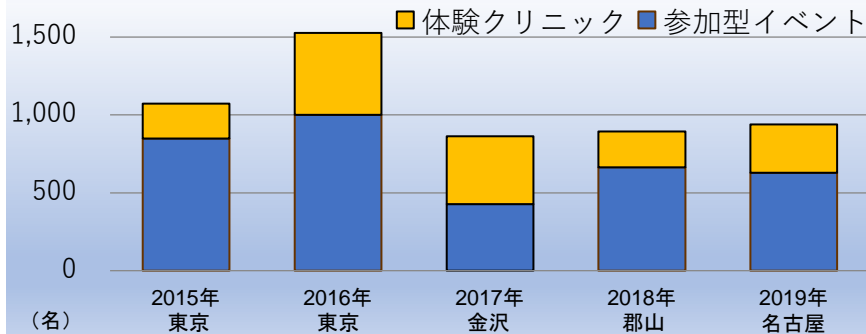
2020

2024

- 目 標
- ①国民皆泳の実現
 - ②水泳ファミリーの拡大

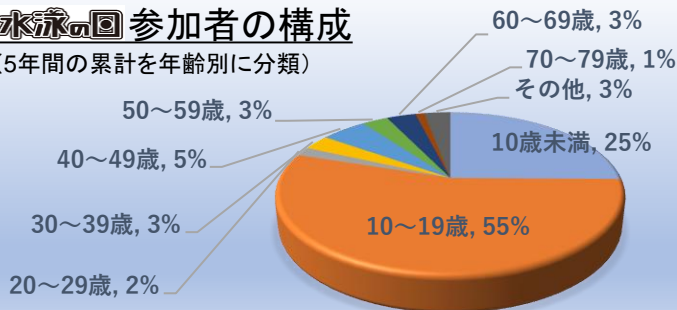
- 目 標
- ①国民皆泳の実現
 - ②水泳ファミリーの拡大

水泳の回参加者の推移

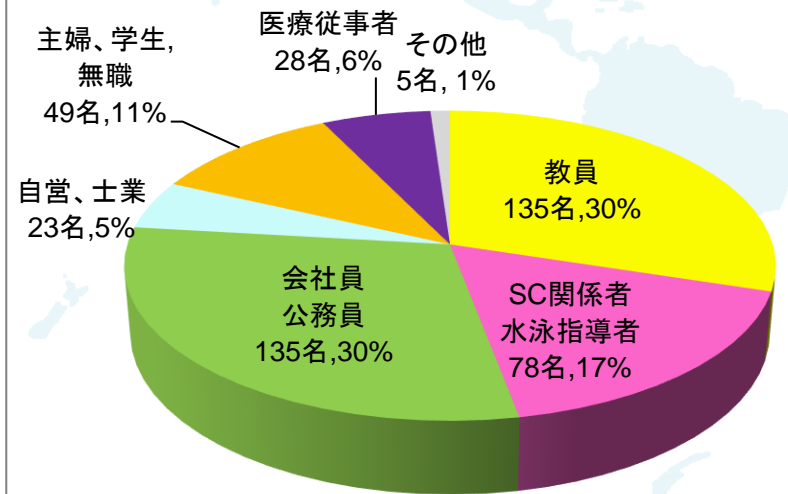


水泳の回参加者の構成

(5年間の累計を年齢別に分類)



理事・監事・専門委員 延べ453名の属性



(2019・2020年度 日本水泳連盟 委員名簿より)

【5】組織基盤

【戦略2017③】

【戦略2017④】

2020

2024

- 目標
- ①組織基盤の強化
 - ②全加盟団体の法人化達成

- ①組織基盤の強化
- ②全加盟団体との理念・使命・行動指針の共有

法人化の達成状況
(2020年3月末時点)

法人化完了の加盟団体・・・39

37都道府県加盟団体

+

(一社)日本スイミングクラブ協会

(一社)日本マスターズ水泳協会

法人化完了



法人化未了の加盟団体・・・11

新型コロナウイルス禍の対応(2020年2~3月)

日付	措置内容
2月25日	理事会、評議員会の郵送議決を決定
3月 3日	JO春季、水球潮風カップの中止を決定
3月13日	競泳日本選手権兼オリンピック代表選手選考会の日程短縮、無観客開催を決定
3月19日	オリンピック最終予選を兼ねた飛込ワールドカップ、ASオリンピック最終予選会の中止を発表
3月25日	競泳日本選手権兼オリンピック代表選手選考会、AS日本選手権の中止を決定



● センターボールに日の丸を! 
公益財団法人日本水泳連盟